

## 平成21年度研究助成の選考結果について

(財)北海道開発協会開発調査総合研究所  
所長 小林 好宏

当協会では、北海道開発に関する社会科学分野を対象とする平成21年度研究助成を行うため、去る20年10月上旬から21年2月16日までの間、道内の大学等高等教育機関で研究を行っている研究者及び研究グループを対象にして助成研究を募集しました。

8年目にあたる本年は道内各地の大学から35件の応募があり、応募された研究のテーマは地域づくり及び地域開発等に関するもののほか、産業振興・環境保全・住環境などにも及びました。

応募された研究について、去る3月17日、当協会に設けた研究助成選考委員会を開催し厳正な審査を行った結果、次表の10件を選考しました。

なお、平成21年度研究助成の選考にあたった選考委員は、次のとおりです。

(3/17現在・敬称略)

座長 小林 好宏	(財)北海道開発協会開発調査総合研究所所長
委員 内田 和男	北海道大学大学院経済学研究科教授
〃 金子 勇	北海道大学大学院文学研究科教授
〃 森田 康志	国土交通省北海道開発局開発監理部次長

当協会では今後とも本研究助成事業を続けていく予定ですので、毎年度作成する研究助成募集要領をご参考のうえ、意欲的なテーマで応募されることを期待するものです。

## 平成21年度研究助成選考結果

(敬称略)

NO	申請者	所属	テーマ
1	藤森 修	東海大学(旭川)准教授	北海道の戸建住宅及び集合住宅における犯罪誘発空間の調査研究と改善案の提案 —北欧デンマークに倣う自然監視型住環境に向けて—
2	*平岡 祥孝	北海道武蔵女子短期大学教授 (現在札幌大谷大学短期大学部教授)	札幌市勤労者の生活意識と生活実態に関する調査
	森 雅人	札幌国際大学教授	
	千葉 昭正	札幌国際大学非常勤講師	
3	*山本 康貴	北海道大学大学院農学研究院准教授	環境に配慮した草地基盤整備の経済評価に関する基礎研究
	伊藤 寛幸	(株)ルーラルエンジニア主幹	
	栈敷 孝浩	北海道大学農学研究院研究員	
4	*橋本 雄一	北海道大学大学院文学研究科准教授	積雪寒冷地域のヴァルネラビリティからみた都市空間の高齢者福祉 —地理空間情報を援用した歩行空間の分析—
	川村 真也	北海道大学大学院博士課程 文学研究科人間システム科学専攻	
5	*大原 雅	北海道大学大学院地球環境科学研究院教授	北海道における低地林開発と自然環境保全教育との共生 —十勝地方を例に—
	山下 純一	広尾町教育委員会教育長	
6	浅妻 裕	北海学園大学准教授	乗合バスのサービス水準と利用者ニーズに関する研究
7	*吉田 恵介	札幌市立大学教授	北海道の景観資源整備にむけた風景イメージの研究
	上田 裕文	札幌市立大学助手	
8	堤 悦子	北海商科大学准教授	農商工連携による地域活性化活動の成果に関する実証研究 —地域ブランド浸透度および活性化の計測指標の探索—
9	*山本 孝	道都大学教授	技術・技能の地域間移転と地域集積
	田中 求	道都大学准教授	
10	*岸 邦宏	北海道大学大学院工学研究科准教授	財源制約下における雪対策費確保を目的としたサーチャージ制の導入可能性に関する研究
	中辻 隆	北海道大学大学院公共政策学連携研究部教授	

□ は共同研究。\*は共同研究の代表者。